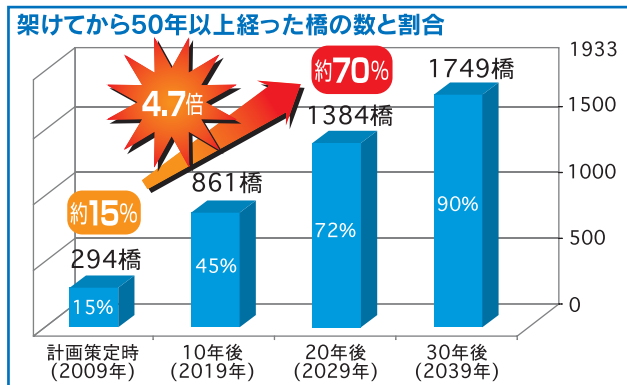
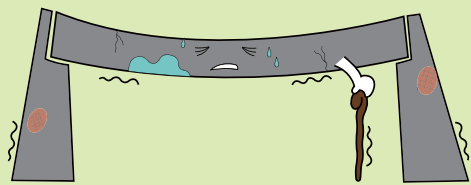
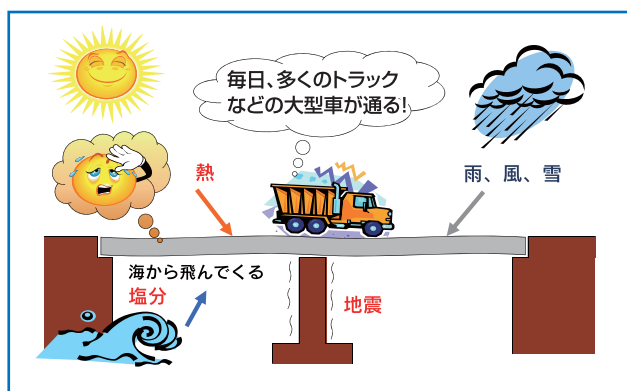


1 北九州市の橋にも高齢化社会がやってくる!

北九州市には1,933の橋があり、
20年後には約7割が
**高齢の目安とされる
築50年以上となります。**



2 橋を取り巻く環境はきびしい!



橋は、毎日、多くの車を通し、
きびしい自然環境にさらされています。
歳を取れば
疲れやいたみも出てきます。

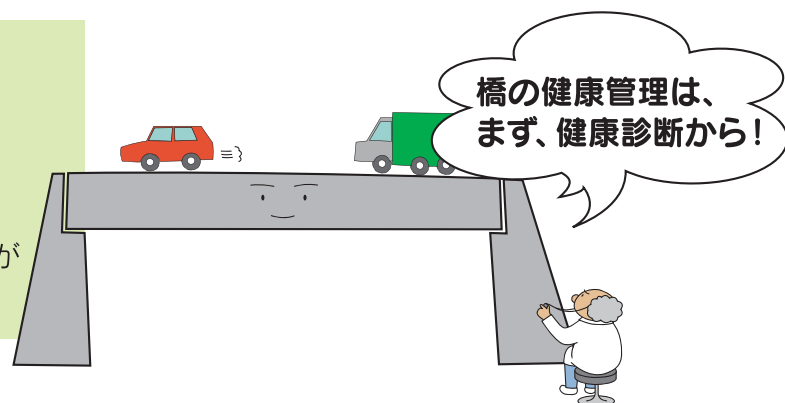
橋が崩落した事例もあります!
突然崩落したアメリカの橋の事例 2007年8月



橋が声を出すのは崩れ落ちるとき!

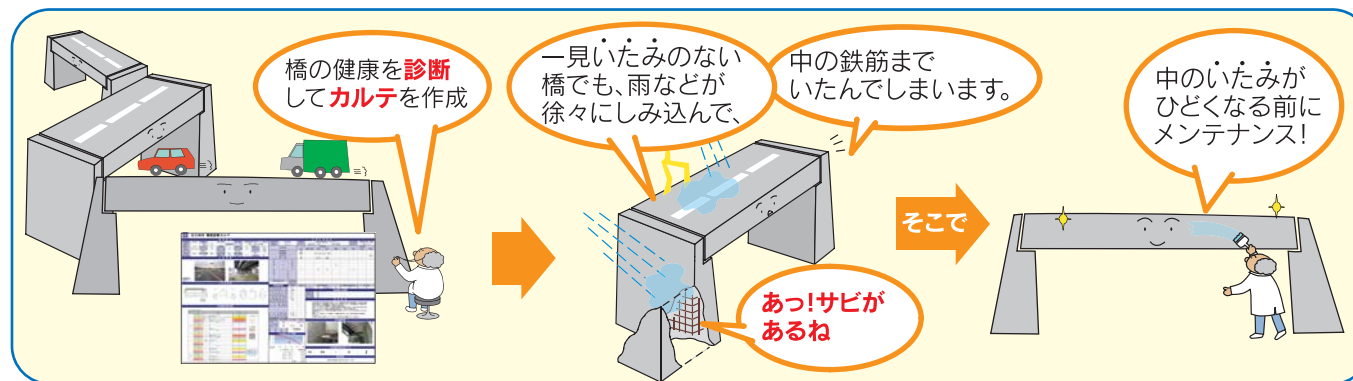
3 橋は私たちの大切な財産だから、しっかり健康管理を!

人は痛みがあれば「痛い」といえますが、橋は声が出せないので、利用する私たちが、**しっかり健康管理**をすることが大切です!



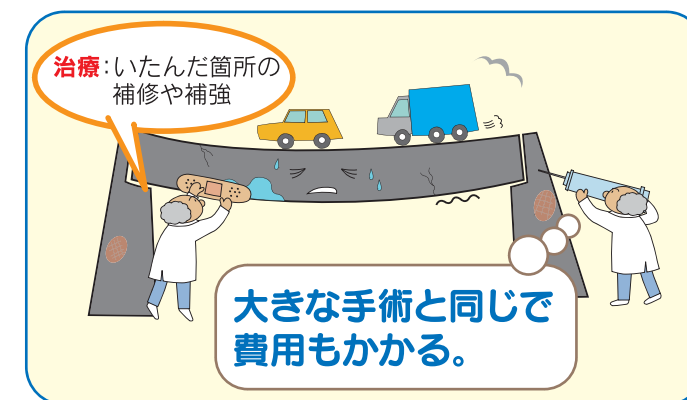
4 橋の健康管理って何?

人の健康管理と同じように、けがや病気がないか診断します。
この健康診断が**点検**で、橋ごとに健康状態を記した**カルテ**をつくります。
このカルテをもとに、**いたみの進行を予防**します。これが**橋の健康管理**です!



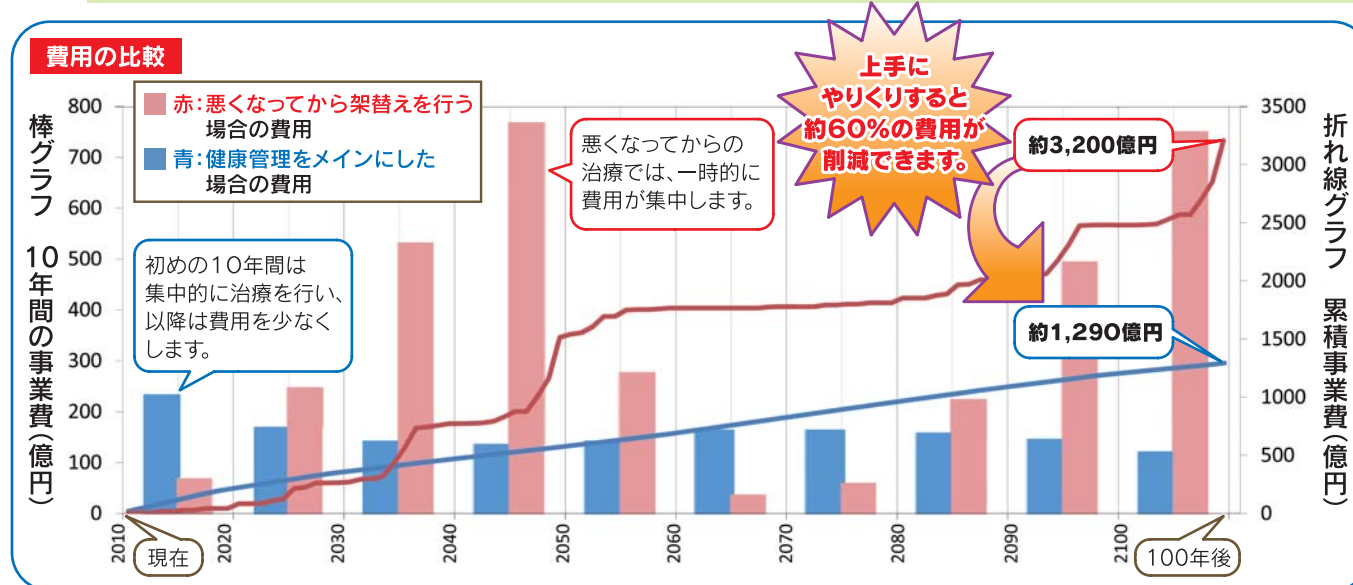
5 すでに、病気やいたみがひどくなっている橋は?

放っておくと致命傷になるので、きちんと**治療**をします。
ただし、悪くなればなるほど費用がかかり、場合によっては架替えなければならないこともあります。



6 橋の健康管理と治療の費用のやりくり!

しっかり計画を立てて上手に健康管理をしないと、一時的に治療の費用が集中します。
また結果として費用がかさみ、十分な健康管理と治療ができなくなります。



橋の健康管理と治療をすれば